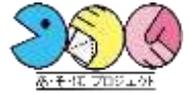




玖波中だより

No.8



大竹市立玖波中学校 令和6年7月19日

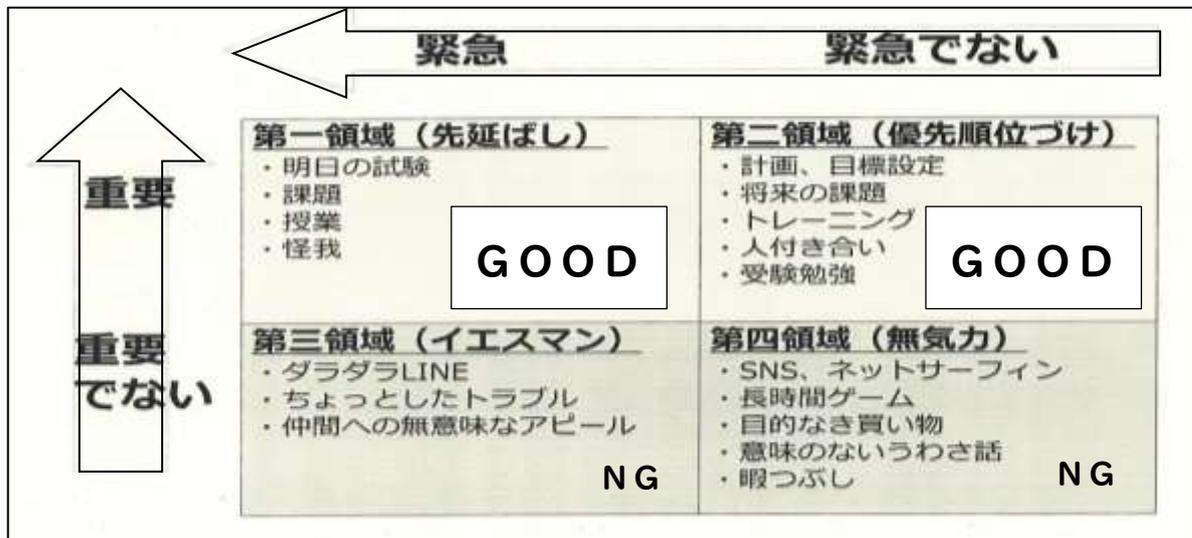
学校教育目標 『『なりたい自分』に向かって、挑戦する生徒の育成』

発行責任者 小田 大介 文責 藤川 健二

1 学期終業式 ～振り返りなくして成長なし～

1 学期の行事や普段の生活等の写真を交えながら、校長の式辞がありました。、その中の3つを紹介します。

- 1 生徒総会、体育祭、日々の生活を振り返り、成長したことを語れるようになること
- 2 「1学期は、〇〇が足らなかったから、2学期はそのために〇〇を頑張ろう」という目標を立てること
- 3 成長させるためのヒントが、広島ドラゴンフライズ、岡崎 修司GMの講演にあったこと



時間管理マトリクス 広島ドラゴンフライズ岡崎 修司GM 講演資料より

式辞の最後を、『2学期に「笑顔」で会いましょう』という言葉で締めくくりました。2学期に会えることは当然のことと思っている人も多いことでしょう。7/12(金)の玖波中ダイアリーにも掲載したように「生まれてくることが奇跡」「今ここにいることが奇跡」なのです。私から生徒に課す夏休みの宿題は「2学期の始業式でみんなに会う」です。そのためには「自分の命を大切にする」「他人の命を大切にする」ということです。

また、生徒指導主事から次の4つについて話がありました。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 健康第一、三点固定を | 2 SNSの使い方、誘惑に注意 |
| 3 一人で悩まず相談しよう | 4 平和について考えよう |

一人で悩まないで ～相談窓口の紹介～

- 24時間子供SOSダイヤル・・・・・・・・・・0120-0-78310
- いじめダイヤル24・・・・・・・・・・082-420-1313
- 少年サポートセンターひろしま・・・・・・・・082-242-7867
- 心のふれあい相談室（広島県）・・・・・・・・082-428-7110

夏休みの間、進路や友だち、家族ことなどで相談したいことがあれば先生や左の相談窓口ご連絡してください。



「大好きなまち 玖波」浜本 歩実

令和6年7月6日(土)アゼリアおおたけで行われた「市民のつどい」で、玖波中を代表して「大好きなまち 玖波」と題して、2年生の浜本歩実さんが意見発表を行いました。

下に紹介しているように、自身の経験を交えながら「玖波」に対する素直な思いを発表することができました。内容もさることながら、聞き手を魅了する話し方、間の取り方等も印象に残りました。

聴いてくださった方の中には、玖波地区の方も沢山参加しておられて、「浜本さんの発表は素晴らしいかったですね」と話をしてくださった方が多くおられました。

「あなたの町の良さはなんですか」と聞かれたら、皆さんはなんと答えますか。私は自信をもって人と人とのつながりと答えます。

私は玖波に住んでいます。小学生の頃、私は玖波についてあまり興味がありませんでした。中学生になり、公民館ボランティアがあることを知りました。初めは姉がボランティアに参加しているからという理由で自分も参加するようになりました。その途中でだんだんとボランティアの楽しさに気付いていきました。

そんなある日、総合的な学習の時間の職業講話で、玖波公民館について、職員の方からお話をうかがう機会がありました。玖波公民館は以前、事業がマンネリ化し、利用者が少ないという課題があったようです。また、地域には空き店舗があったり、地域のつながりも、もう一歩だったりしていたそうです。その課題を解決するために、アイデアを出し1つ1つ実行していられました。公民館のイメージを変えるために、こども天国、玖波コレクション、まちかどピアノ等、みんなが楽しんでもらえるようなイベントを開催されました。その努力が実り、平成27年に優良公民館として表彰されました。私がお話の中で印象に残っているのは「つながる」という言葉でした。公民館は年齢を超えてみんなが集まれる大切な場所になっていったことに気づきました。

公民館ボランティアに参加すると、地域の知らない方でも、「お疲れさまでした」「ありがとう」と声をかけてくださいます。これが私が感じた「つながる」ことだと思いました。また、ボランティアをすると、「人が喜んでくれる」、「楽しんでいる」、「地域の方と話ができる」、といった達成感を味わうことができます。そして、誰かの役に立ったのではないかと感じるすることができます。どのイベントもとても賑やかで笑い声が広がり、見ている私も自然に笑顔になりました。そして、人とつながることができる公民館が大好きになっていきました。

私が思う玖波の良さは、皆が明るく、優しく、人と人とのつながりを大切にしているところです。それをより多くの方が実行していけば、安心して暮らせる温かい町づくりができると思います。私も人と人とのつながりを大切し、まず、自分からボランティアスタッフに参加していきたいと思っています。来年1月大阪や京都へ修学旅行で行きます。大竹の特産品をあきんど体験で紹介したり販売したりします。関西の方に「玖波の良さは」と聞かれたときには、胸を張って「人と人とのつながり」と伝えようと思っています。そして、これからも、私の大好きなまち「玖波」に貢献できるように成長していきたいです。

保護者・地域の皆様へ

日々の授業、生徒総会、体育祭、クラスマッチなど一生懸命取り組み、大過なく、1学期を終えることができました。ひとえに、保護者・地域の皆様のご理解、ご協力あってのものだと思っています。2学期以降も本校教育活動にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

学校閉校日及び一斉閉庁の3日間に緊急に学校へ連絡する必要がある場合は、下記へご連絡ください。

8/9(金)・16(金) 学校閉校日：080-8825-1464(校務用携帯)
8/13(火)～15(木) 一斉閉庁日：59-2185(大竹市教育委員会総務学事課)